

令和4年度

守山北高等学校 学校評価

本年度の重点目標

- ・地域から信頼され、地域に根ざした学校づくりを推進する。
- ・授業や学校行事を通して、学ぶことの喜びや充実感を生徒たちに伝える。
- ・生徒一人ひとりの自らの進路選択意識を高め、その実現に向けて支援する。
- ・思いやりの心・規範意識などの社会性の育成に努める。
- ・危機管理意識の高揚を図り、安心して安全な学校づくりを推進する。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	地域から信頼され、地域の要望・課題に応える学校づくりを推進している。			
	教育課題への即応性を高めるため、校内の組織運営体制を強化することに努めている。			
2 学習指導	生徒の生活実態を把握し、自主的な学習につながる教科指導に努めている。			
	授業を大切に学習できる雰囲気づくりを進めると共に、授業法の研究に努めている。			
3 生徒指導	挨拶の励行等を通じて、基本的な生活習慣の確立に努めている。			
	個人面談の充実を図ることで、より緊密な信頼関係を築き、心に届く指導に努めている。			
4 進路指導	表情やしぐさ等を詳しく観察することで、『いじめ』の早期発見に努めている。			
	進学希望生徒に対しては模擬試験やガイダンスを通し、時宜にかなった情報や指針を提供するとともに、進学補習を通じて学力伸長を図っている。			
	就職希望生徒に対しては就職模擬試験やガイダンス、個人指導を通して採用選考への対応力を身につけさせている。			
5 特別活動等	学年進行に伴い、適切な進路行事を企画し生徒が自らの進路を考える環境を提供している。			
	部活動を活発化することによって、学校生活の充実を図っている。			
6 学校図書館	部活動を活発化することによって、学校生活の充実を図っている。			
	体育祭・文化祭や修学旅行等の取り組みを通して、生徒の自主性や自立心の伸長を図っている。			
7 保健・安全指導	生徒の読書意欲を喚起するため、読書週間の充実を図っている。			
	広報誌発行等を通じて蔵書や読書の情報提供に努め、図書館利用を促進している。			
8 人権教育	「保健だより」の発行や個別指導により、生徒の健康意識を高めるよう努めている。			
	教育相談委員会を中心に、生徒・保護者への適切な対応に努めている。			
9 環境教育	人権LHRや人権講演会を通して、生徒の人権意識を高めている。			
	近隣の福祉施設との交流等を通して、障害者や高齢者等への理解を深めている。			
10 事務・管理	ゴミの分別指導を通して、学校全体の環境保全に対する意識を高めている。			
	日頃の清掃活動および舎外清掃等を通じて、環境美化に努めている。			
11 その他 学校の取組み	個人情報の管理の徹底と適切な文書管理を行い、情報公開に対応している。			
	施設・設備の安全点検を行い、安心して安全な学校づくりに努めている。			

- (注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表  
 10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。  
 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。
- ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
  - ・A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。